



気象庁

大阪管区気象台

Osaka Regional Headquarters, JMA

報道発表

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和4年6月21日
大阪管区気象台

近畿・中国・四国地方の夏から秋にかけての高い潮位について ～ 浸水・冠水に注意 ～

近畿・中国・四国地方では、「夏から秋」の潮位は「冬から春」に比べ約40センチ程度高いため、特に大潮の時期は浸水や冠水が発生しやすくなります。

夏から秋にかけては海水温が高くなることなどの影響で、天文潮位^{※1}が高くなり、沿岸地域では浸水や冠水が発生しやすくなります（別紙 図1）。

特に、7月から11月までの大潮の時期（満月と新月の前後数日間）には、満潮時の潮位が高くなります（別紙 表1、図2～図6参照）。

また、台風や低気圧が接近したり、異常潮位^{※2}が発生したりした場合は、さらに潮位が高くなりますので、より一層の注意が必要です。地元気象台から発表される高潮特別警報・高潮警報・高潮注意報や潮位情報に留意してください。

発表された高潮特別警報・高潮警報・高潮注意報や潮位情報は、地元気象台や大阪管区気象台、気象庁のホームページに掲載しています。また、各地の潮位観測情報や潮位表（天文潮位）は以下のホームページに掲載しています。

・ 気象警報・注意報（気象庁）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#7/34/134/&elem=all&contents=warning>

・ 潮位観測情報（気象庁）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#7/34/134/&elem=all&contents=tidelevel>

・ 潮位表（気象庁）

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/index.php>

※1：過去の観測データから求めた潮位の予測値

※2：潮位が比較的長期間（1週間から3か月程度）継続して平常より高く（もしくは低く）なる現象

気象警報・注意報



問合せ先

気象防災部 地球環境・海洋課

担当 寺野、篠崎

TEL：06-6949-6653

潮位観測情報



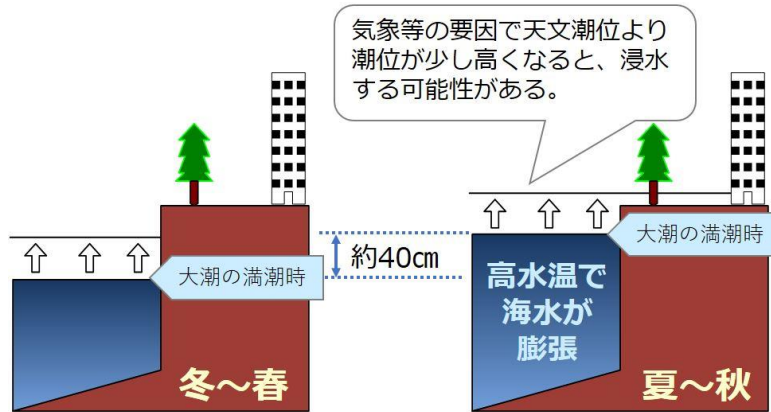


図1 冬～春の潮位と夏～秋の潮位の比較

夏から秋にかけては、冬から春に比べて潮位が約40センチ程度高いため、わずかな水位の上昇で浸水害の発生につながります。

表1 令和4年6月以降の満月と新月の日

月	満月	新月
6月	14日	29日
7月	14日	29日
8月	12日	27日
9月	10日	26日
10月	10日	25日
11月	8日	24日
12月	8日	23日

満月や新月の日の前後数日間が大潮の時期にあたります。また、同じ大潮の時期でも、満潮の潮位が最も高くなる日は、地点によって異なる場合があります。

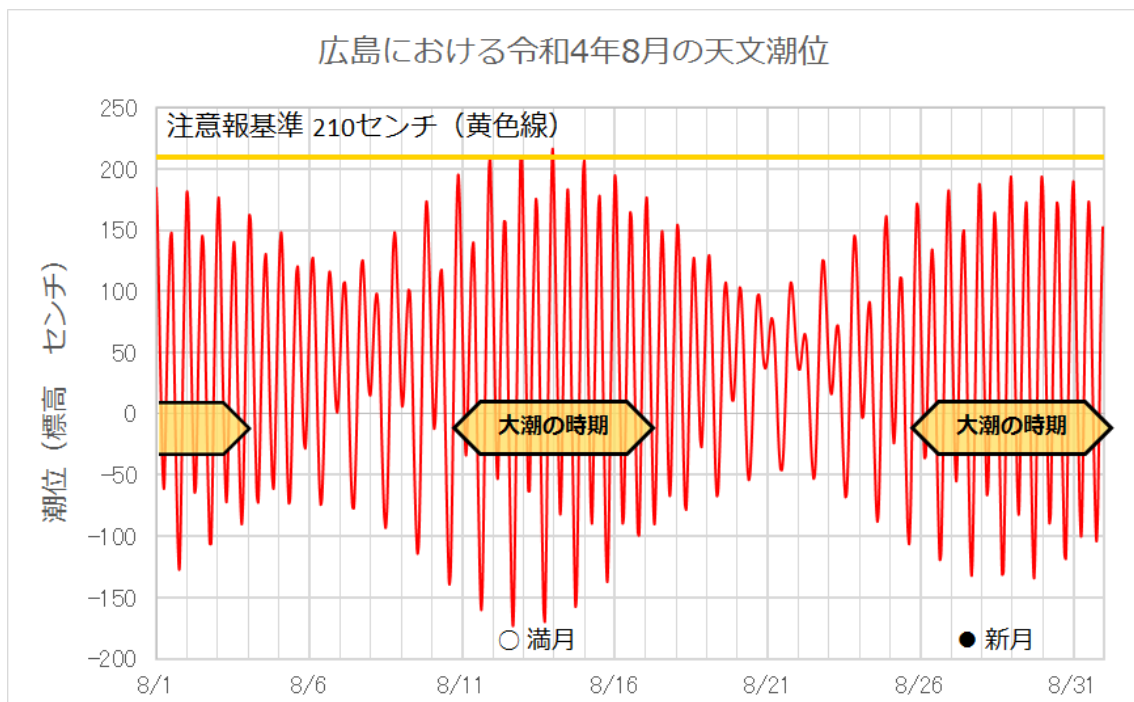


図2 広島における令和4年8月の天文潮位

横軸は日付、縦軸は潮位の標高（センチ）です。

大潮の時期は満潮と干潮の差が大きくなり、満潮時の潮位が特になくなります。

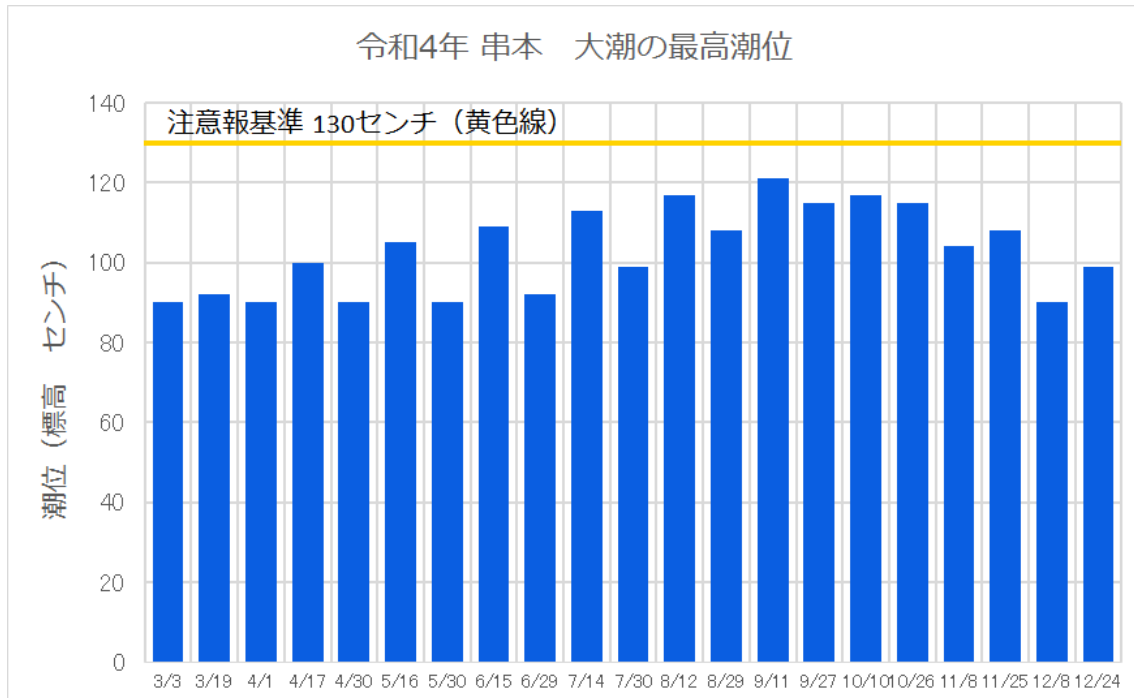


図3 大潮の最高天文潮位（和歌山県 串本）

グラフの日付は、大潮の最高潮位の日を表します。縦軸は潮位の標高（センチ）、黄色の線は串本の高潮注意報発表基準値（130センチ）です。

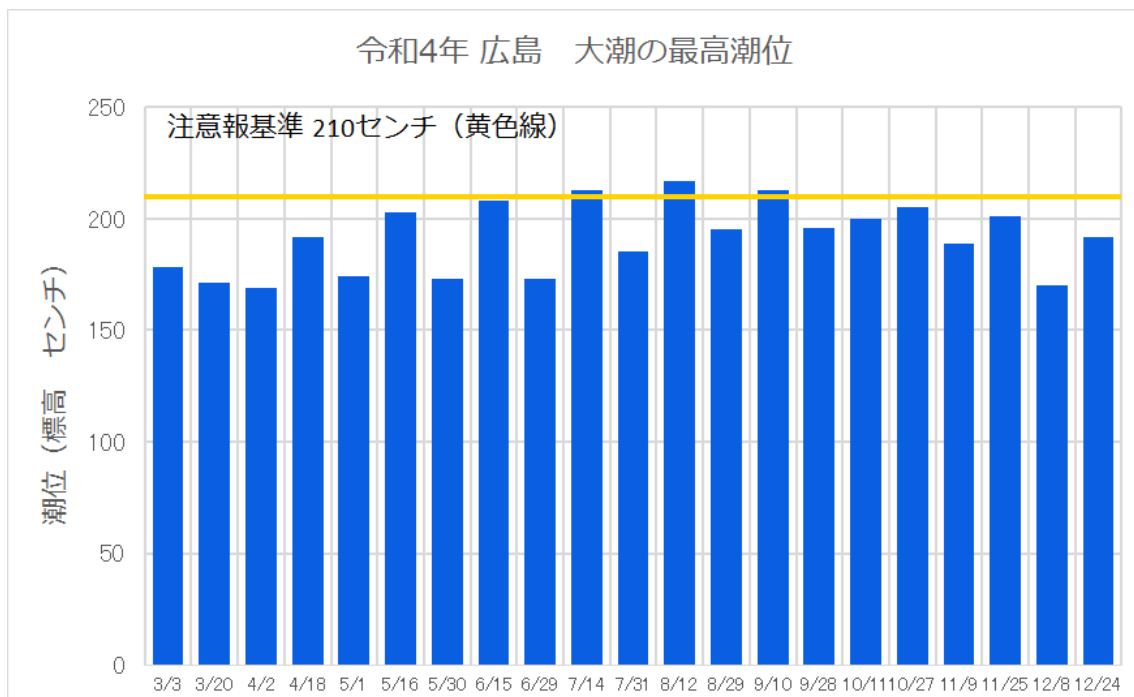


図4 大潮の最高天文潮位（広島県 広島）

グラフの日付は、大潮の最高潮位の日を表します。縦軸は潮位の標高（センチ）、黄色の線は広島の高潮注意報発表基準値（210センチ）です。

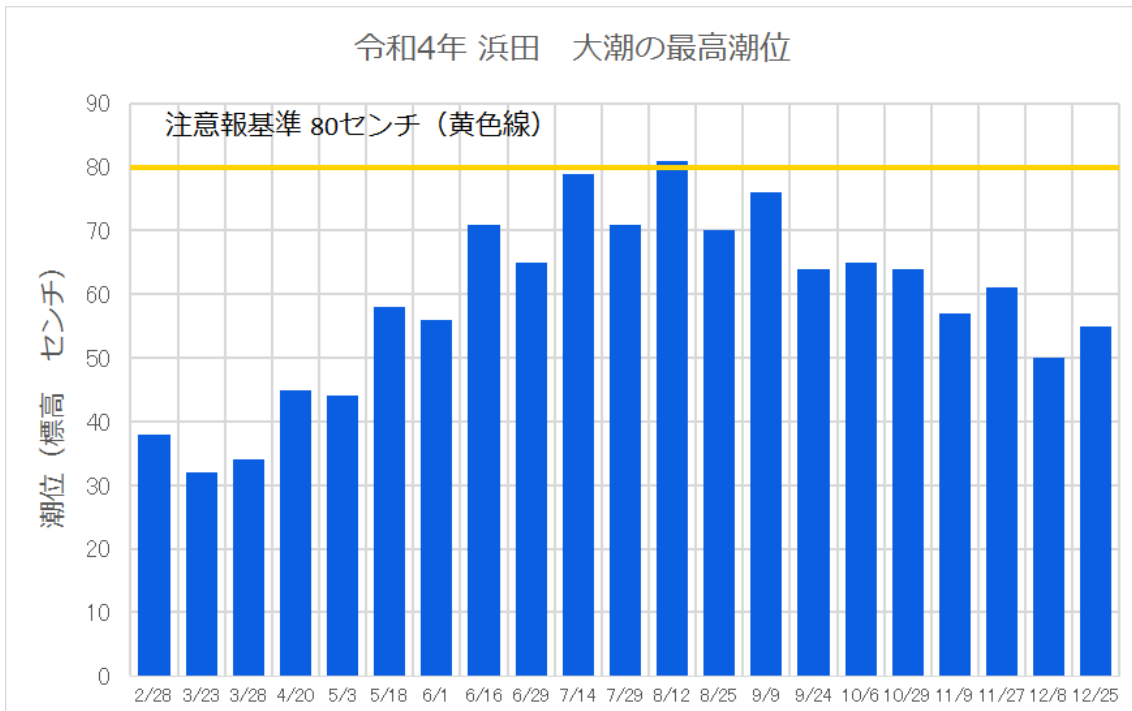


図5 大潮の最高天文潮位（島根県 浜田）

グラフの日付は、大潮の最高潮位の日を表します。縦軸は潮位の標高（センチ）、黄色の線は浜田の高潮注意報発表基準値（80センチ）です。

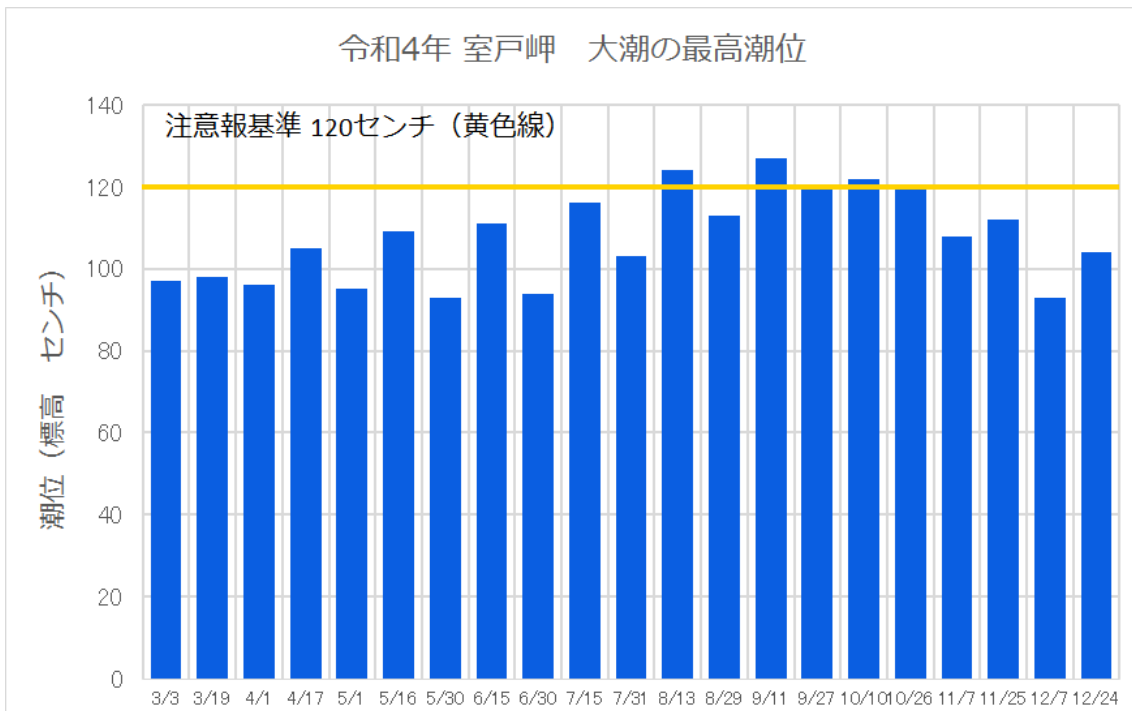


図6 大潮の最高天文潮位（高知県 室戸岬）

グラフの日付は、大潮の最高潮位の日を表します。縦軸は潮位の標高（センチ）、黄色の線は室戸岬の高潮注意報発表基準値（120センチ）です。